


令和4年度 福井市麻生津小学校 スクールプラン

●福井市学校教育目標
郷土福井に誇りを持ち、たくましく
生きる子どもの育成

●学校教育方針
学びをつなぐ・未来につなげる
～「つながる」を大切にされた学校づくり～

●研究主題
確かな学力、生き生き麻生津っ子をめざして
子供の「学ぼうとする姿」を育てる
授業改善



〈学校教育目標〉 自ら学び、未来を拓く児童の育成

〈めざす学校像〉 自らの力を発揮し、生きる力の「もと」を育む学校

- 知識・技能のもと： 感じることと気付くこと
- 思考力・判断力・表現力のもと： 見渡し見通し工夫しやり直す・思いを自分の言葉や表現で出すこと
- 学びに向かう力： 好奇心、粘り強さ、仲間による支えを自分なりに取り込むこと

〈めざす麻生津っ子〉 「しようとする」志向の重視と 資質能力の核「情意」の育成

知（学ぶ意欲、思考力・表現力）： 進んで学び、考える力・表現する力を高めようとする子

徳（他者との協働）： 自分の力を出し、認め合い、協力して行動しようとする子

体（心身の健康としなやかさ）： 心と体を大切に、粘り強くやってみようとする子

●家庭・地域の願い

- ・喜んで登校し、自ら学ぼうとする子
- ・思いやりをもって助け合う子
- ・あいさつができる子
- ・園小中接続の推進、つながりの強化
- ・あそびの伝統の継承 等

●足羽中学校区教育
意識調査に基づく PDCA サイクル
の実践検証
自ら学ぶ基盤を培う家庭・地域
との連携

全ての教職員による カリキュラム・マネジメント
子供の姿を核とした 教職員の学び合い

	確かな学力の定着	豊かな心の育成	健やかな心身の育成	家庭・地域との連携
重点	◎主体的に問題解決できる力を培う	◎多様な価値観を受容・共感できる力を培う	◎困難を乗り越えようとする意欲を育てる	◎様々な人と協働できる力を培う
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りと学びの自覚化をつなぎサイクルを生む「楽しい授業」実践を行う。 ・タブレット、学びポケットを活用した交流と発展学習等に取り組む。 ・インクルーシブ教育推進のチーム体制を整備し、児童への支援を行う。 ・図書支援員や公立図書館、地域ボランティアと連携し、読書に親しむ多様な機会を設定する。 ・年間を通した児童意識調査（3回）を行い授業や活動のPDCA検証を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルスキルトレーニングを取り入れながら、個と集団を育てる学級・学年経営、協働する人間関係づくりを推進し、人権・道徳教育を進める。 ・放送やオンラインの積極的な活用を行い、認め合える関係作りを行う。 ・集団でのルール作りや話し合いなどの経験を増やし、自己調整力を育てる。 ・スマートルール、情報モラルを保護者と共有し定着させる。 ・コロナ禍の異学年等との交流を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全校への指導、児童会活動、環境整備を絡め、運動習慣、感染防止、健康・安全意識等の向上を工夫する。 ・子供の多様な表現活動の場を設定し、自己有用感を醸成する。 ・一人一人の児童と計画的に面談を行い、教育相談の充実を図る。 ・家庭および校区内の園と連携し、規則正しい生活習慣の確立を図る。 ・地域の実情に応じた様々な自然災害等への避難訓練や指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然、様々な人々、地域の偉人や文化施設等に親しみ、地域活動と生活・総合、食育等の学習を絡め、社会に開かれた教育課程編成に取り組む。 ・自分で計画を立てる多様な家庭学習・人生の進んで勉強を推奨する。 ・オンライン、機会を捉えた少人数の情報交換等、校種を超えた教職員のつながりで接続を図る。 ・スクールカウンセラー、関係機関との連携を強化する。
数値	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に進んで取り組んでいる児童 80% ・校内授業研修会年間 8 回以上 ・相談相手がいる教職員 100% 	<ul style="list-style-type: none"> ・憧れを育て夢や目標を抱く活動（全学年） ・学校が楽しい児童 90% ・いじめ解消 100% 	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビやゲームは時間を決めて守る児童 75% ・体力づくりをしている児童 70%以上 ・園小中連携により家庭への啓もうだよりを作成・活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事等に参加する児童 85% ・自分で考えた家庭学習ができる児童 70% ・保護者メール配信働きかけ月 4 回

<p>●業務改善のための取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事等のねらいの構造化による精選 ・留守番電話活用 18：00～7：30 ・ノー残業デー水曜 18 時 ・校時表見直し ・デジタル化推進等 	<p>●学び合う教職員集団のための取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・15 時以降の教職員の対話確保 ・一人一授業による校内授業研修 ・ホットラインによる児童理解、支援共有 ・園小中参観交流 ・オンライン活用
---	--